



豊中彩樹だより 2025年新春号

新年のご挨拶



新年あけましておめでとうございます。

当院は、4年前に『豊中敬仁会病院』と病院名を変更して、高いレベルの消化器疾患を中心とした診療を提供し、地域の皆様に貢献できるよう邁進してまいりました。従来の消化器科・腎透析科に加えて、現在は泌尿器科も積極的に診療・治療を行っております。引き続き、地域の医療機関と顔の見える関係作り、円滑な連携を構築できるように努めて参ります。

今後とも当院をよろしくお願い申し上げます。



病院長 堂野恵三



2024年実績報告



外科

全身麻酔	428 件
腰椎麻酔	130 件
局所麻酔	560 件
結腸、直腸癌大腸腫瘍	175(175) 件
胃癌切除	11(11) 件
胆石、総胆管結石等疾患	72(72) 件
ヘルニア手術	55(50) 件
その他	161(58) 件

※()鏡視下手術

消化器内科

上部消化管内視鏡検査	3,227 件
内視鏡的腫瘍切除術・粘膜下層剥離術(ESD)	46 件
胃瘻増設術	16 件
下部消化管内視鏡検査	2,010 件
内視鏡的粘膜切除術	991 件
内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)	72 件

腎・透析科

シャントPTA(VAIVT)	164 件
内シャント造設術	35 件
血液透析	60 件

泌尿器科

膀胱鏡検査	95 件
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍切除術	17 件
経尿道的レーザー前立腺切除・蒸散術(PVP)	40 件
経尿道的尿管ステント留置	68 件
前立腺生検	20 件
経皮的放射線治療用金属マーカー留置術	12 件
経尿道的結石破碎術(TUL)	21 件
経尿道的水蒸気治療(REZUM)	14 件
経尿道的膀胱腫瘍切除術	1 件
腹腔鏡下腎摘出術	1 件
その他	56 件

循環器

超音波検査(心臓)	860 件
ホルター心電図	23 件
心電図	2,405 件
負荷心電図	105 件
頸動脈エコー	156 件
ABI	478 件

放射線科

一般X線撮影	8,735 件
CT検査	6,926 件
MRI検査	2,604 件



新年の抱負

副院長：内科部長、内視鏡センター長
光藤 大地 医師

当院での内視鏡件数は年々増加し、1年で、上部消化管内視鏡検査は3000件、下部大腸内視鏡検査は2000件程度となっています。主な内視鏡治療としては、ESDが年間120件程度、大腸ポリープ切除は1000件程度です。

丁寧な内視鏡検査をこころがけ、治療すべき病変の早期発見・早期治療を目指します。

副院長：外科部長、ロボットヘルニア手術センター長
高山 昇一 医師

2022年1月に奥田準二医師とともに当院に赴任し3年が経過いたしました。2024年より新しい術式としてロボット支援下鼠径部ヘルニア修復術への取り組みをはじめ、これまで5例を安全に施行しております。同術式は欧米では既に普及しておりますが、日本では未だ保険収載されていないことから当院を含めた先進治療に取り組む一部医療機関にて自費診療にて施行されるに留まっています。ロボットアームの多関節機能を使用し、精細、精緻な手術が行えますので、今後日本でも広く普及することが期待される術式です。当院でも大腸がん手術とともにロボット支援下手術の柱として取組んでいく所存です。

患者様より寄せられたご意見

2024年9月～11月
ご意見箱より

- *先生、看護師、スタッフの方々に温かく声をかけて頂いて、心穏やかに療養でき感謝しています。食事味付けにとっても工夫されていて毎食美味しくいただきました。朝食のパンは温かいので食べやすかったです。
- *この度は先生に迅速に検査をして頂いてありがとうございます。看護師の方々にも患者の希望を尊重して内服や生活面をフォローして頂いたり、心配を聞いてもらえて安心しました。また何かあった時はお世話になりたいです。
- *病室について 下痢がひどい為、トイレの近い部屋を希望しましたが、一番遠い部屋でした。そして同室者の騒音がすごく、部屋移動を希望しましたが叶わず、自腹で耳栓を購入するように言われました。病院側が用意すべきだと思います。
【回答】
患者様のご不便やご不快な思いについて心よりお詫び申し上げます。
病室の配置については患者様の状態や他の患者様の状況を考慮しながら行っており、申し訳ありませんでした。耳栓購入のご提案は患者様の快適さをご提案したものでしたが、ご納得いただけなかった事を重く受け止めております。
- *入院患者と外来患者の優先順位はどちらですか？不調を訴えても主治医は外来中なので、対応できない、様子を見て（看護師判断）としか言われなかった。何の為に入院しているかわからない事が多々あった。
【回答】
優先順位は患者様の病態や緊急性に応じて判断されるべきですが、外来中という理由で対応が不足していた事は、患者様にとって不安を抱かせてしまい、今後は改善に努めて参ります。
- *自転車がいっぱい、置きにくい
【回答】
駐輪スペースの管理や整備について、安全で快適にご利用頂ける環境を考慮し、改善を検討いたします。
- *売店を作ってほしい、自動販売機を新札対応にしてほしいです。
【回答】
どのようなサービスを提供するか関係部署と検討いたします。自動販売機の新札対応については業者から順次交換予定と連絡がありました。

医師コラム

副院長・消化器内科部長 光藤大地 医師 『大腸がんの危険因子と低年齢化について』

○大腸癌のリスク因子

以前から知られているものとして、下記があげられます。

食生活

- ・**リスク↑**・・・高脂肪、低食物繊維食、加工肉の摂取、糖質の過剰摂取
- ・**リスク↓**・・・高食物繊維食、 ω -3脂肪酸（魚に含まれるEPAやDHA）

遺伝的要因（家族性大腸腺腫症、Lynch症候群、その他）

生活習慣 飲酒、喫煙、肥満、運動不足

慢性炎症（潰瘍性大腸炎やクローン病）

薬剤 消炎鎮痛剤（アスピリンやNSAIDs）などで腫瘍形成を抑制する可能性
（ただし、薬剤の長期使用には注意が必要）

近年では腸内細菌叢と大腸癌発生との関連が盛んに研究



○大腸腫瘍についての最近の話題

若年性大腸癌の増加が世界で問題となっています。

50歳未満で大腸癌と診断される割合は年々増加しており、現在大腸癌全体の10%を占めるまでになりました。この割合は、10年後には直腸癌で25%結腸癌で10-12%になると予測されています。大腸癌診断時の平均年齢は、2000年で72歳でしたが、現在66歳まで低下しています。

50歳未満で診断される大腸癌の特徴としては

- ・**左側が多く、70%以上（50歳以上で診断される癌はほぼ右側＝左側）**
- ・**低分化・未分化型の腺癌が多い**
- ・**遠隔転移を伴うstageⅢ・Ⅳでみつかることが多く、このことが予後の悪さにつながっている**
- ・**3割程度が大腸癌の家族歴を伴う**

といったことが報告されています。

アメリカでは大腸癌スクリーニング開始年齢を50歳から45歳へ引き下げる動きがあるそうです。

大腸癌の低年齢化の原因ははっきりとはわかっていませんが、食生活の変化、若年時からの清涼飲料水摂取、肥満、運動不足、耐糖能異常、腸内細菌叢の変化、などが想定されているようです。

腹部症状、特に血便、腹痛・腹満、排便習慣の変化が診断の契機となることが多いとのことですので、若年であっても積極的に大腸内視鏡検査をお勧めしたほうがよい時代になってきているのかもしれません。

栄養課のオススメレシピ

鮭と根菜の味噌バター煮込み

＜材料＞

鮭の切り身	2切れ
じゃがいも	2個
にんじん	1本
しめじ	1パック
玉ねぎ	1個
味噌	大さじ2
バター	20g
醤油	大さじ1
出汁	400ml
塩・こしょう	お好みで

＜作り方＞

1. 鮭を半分に切り、軽く塩をふる。人参とじゃが芋は皮を剥いて一口大に、玉ねぎとしめじは適当な大きさに切る。
2. 鍋に出汁を入れて温め、人参とじゃが芋を加えて煮る。
3. 野菜が柔らかくなったら、玉ねぎ、しめじ、鮭を加えて煮る。
4. 味噌と醤油を混ぜて鍋に加え、全体に味がなじむように似る。その後バターも加えて更に5分ほど煮込み、味が整ったら完成。最後にお好みで塩こしょうを加えても良い。



鮭には血流改善や
コレステロール値の低下が期待出る
オメガ3脂肪酸、
根菜類には食物繊維やビタミン
が豊富に含まれており
栄養満点なお手軽料理です！